



「子どもに優しい社会を」

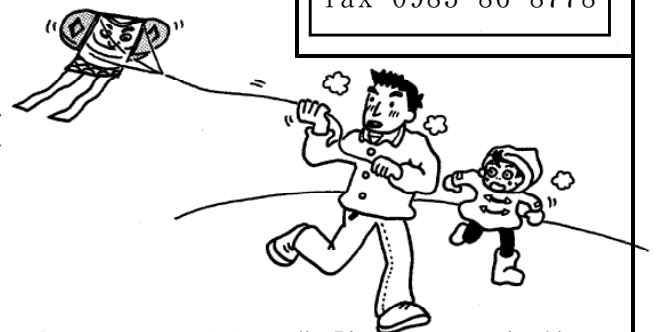
岩切たつや

議会便り

謹賀新年

2016年1月
発行
岩切たつや

住所
宮崎市広島二丁目2-19
ノバハイツ402
電話0985-89-5158
fax 0985-86-8778



の件、精神障害に対する理解普及など質問いたしました。それぞれに知事や、関係部長から前向きな答弁をいただきました。

私は、児童相談所や福祉事務所など、社会福祉の一線で働いてきた経験から、これからも社会のひずみを背負う声なき声を取り上げて、一歩でも役に立ちたいという思いで政治活動を行って参りたいと存じます。

児童養護施設の

予算増へ

議会に提案された補正予算案では、児童養護施設の職員を手厚くするための予算が組まれました。(児童5.5人に1人が児童4人に職員1人となった)また、学習塾代も支給が拡大することができ、大変喜ばしい結果でした。

ほかに、医療人材の確保のための事業、ウィルス性肝炎患者の医療費助成、宮崎市浜山地区防潮護岸工事の費用など、16億円程が補正追加されました。

二月議会は

予算審議です

二月定例議会は二月十九日から三月十六日までの予定です。私は登壇予定はなく、常任委員会や福祉保健部、病院局を対象に予算審議を行います。

今後も、議会だよりで活動の報告を行っていきます。皆様のご意見・ご要望をお聞かせ下さい。

十一月補正予算の

主な事業から

- ・ 児童入所施設等措置費 2億5863万円
- ・ 肝炎総合対策事業 8381万円
- ・ 地域医療介護総合確保基金事業 1541万円
- ・ 在宅医療・介護連携推進体制整備事業 2023万円
- ・ 安心してお産のできる体制推進事業 572万円
- ・ 産学官金連携による地域経済循環創造事業 6700万円
- ・ 治山施設災害復旧事業 2億1542万円
- ・ 九州ベンチャーマーケット開催事業 1177万円
- ・ 九州U-Jターン就職応援フェア開催事業 479万円
- ・ 口蹄疫埋却地再生活用対策事業 4376万円
- ・ 災害関連事業 1億1880万円

希望が持てる社会に!

二〇一六年は、七月に参議院選挙が予定されています。

どの国も経験していない超スピードで進む高齢者の増加に対応すること、TPPを待たずして世界の国々との経済競争に巻き込まれている働く人々の生活を守ること、拡がってしまった格差を縮めること、などなど私たちが、その子どもの世代まで、未来に希望が持てる社会を作りたい、そのための参議院選挙としようではありませんか。安倍総理は「憲法改正を争点とする。」と正面突破を宣言しました。戦争法を作り、戦争を自ら引き寄せた上

で、非常事態条項を憲法に盛り込みたいと言います。表向きは大規模な災害時にはという想定で、人権の一時的な制約をとると言っています。災害時に対応するためなんて言葉のごまかしなんです。私たちは、この間の災害に、助け合い、絆(きずな)を確認しつつ対応してきたのです。政治家として師事いただく烏飼謙二前県議から「政治家は、何事にも誠実に努めること。」と学ばせていただきました。今の国の政治には、言葉のごまかしが多い不誠実な政治だと感じています。負けられない1年です。

1年生議員の
議会のい・ろ・は

今回は議会の質問はどのように準備するのかをお話したいと思います。私の場合(というものは、議員によっては違うようなので)、最初に、「〇〇の件」という感じで、10本ぐらいの質問を立てます。「児童福祉の件、障害者福祉の件、教育の件、貧困の件、動物保護の件、・・・」という感じで。その柱の中で、たとえば「児童福祉の件」では、児童養護施設を訪問した際に伺った課題を元に「入所児童が高校を卒業して、卒園した後の支援体制の充実が必要」など簡単なメモを作ります。そのようなメモが揃う頃に、県執行部の担当者(議会担当という職員。普段は県庁の財務を担当している)が「岩切議員はどんな質問をする予定ですか?」と聞いてきます。メモを見せると「この課題は〇〇課の担当です。〇〇課の職員と一緒に話しに来ます」となります。

が、離職などしてその後どうすればいいか悩んでいるが、相談する親もない状況。そのことの対応を聞きたいと考えている」など伝えます。こんなやりとりを重ねる主旨が十分に担当課に伝わるようにしています。

質問主旨確認の議論が数時間も

そのため、10本もあると、各課と1時間やりとりしても10時間、もっと時間がかかっています。こんな議論を踏まえて質問原稿を準備します。本番で知事や部長達に現状を伝えながら対応を質問します。

質問「支援体制はどうなっているか?」

答 「施設退所後に相談する相手がなく、離職したりすることも。退所した児童が安定した生活を送るため相談支援を行う体制を整備していく」と言う風に、「どうなっているか」という質問でも、知事などが問題を理解し、次の体制を考えてもらうように質問しています。

でも、質問の主旨を理解してもらったとしても期待する回答ばかりとは限りません。課題があるとしても、解決には予算や人員、他の機関の理解が関係することがあるからです。

がんばりました。2015年。



安保関連法に反対するママの会宮崎

武器を持つことが抑止なら、世界はとくに平和なのではないでしょうか。イラク、アフガン戦争、武器の力で抑えて生まれたものは何だったでしょう。

たとえばアメリカの銃社会。自己防衛(抑止)のため?銃が蔓延。ぬけだせなくなっています。

銃乱射事件たくさん起こっています。もし、日本社会で銃を持つことが許される法律ができたらお隣が持つなら、我が家も...と抑止目的に(日本当は不安にかられて)、次々に銃を持つ人が増えるでしょう。

少しだけ...と、ひとつ購入すれば、それを知った近くの人が、ふたつ買うかもしれません。

うちは銃は持たない!とはっきり言えばその人のお隣さんは安心してくらすことができますでしょう。

持ってしまったら、使う人が出てきます。亡くす命が出てくるでしょう。

そして、銃を売ってるお店が儲かります。社会は疑心暗鬼で、殺伐としてきませんか?

この安保関連法は???

「抑止力」だと賛成した議員さんたちは戦争に行きません。

賛成した議員さんは誰ですか?

儲かる人は誰ですか?

戦争に行くことになるのは、だれですか?

子どものいるママさん、愛するひとのいる若い人たち、学生さん、よく考えましょう。

自分たちに降りかかってくる法律であることを。だれのいのちも、武器によって亡くすことがありませんように。

*同じ目標に向かってるママの会から、許可をいただいて、転載しました。平和のため、益々がんばりたい一年です。